

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、個人が識別される診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

- 研究の対象期間と対象となる患者様
2015 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日に、当科で腹腔鏡下直腸固定術を施行し周術期に経会陰超音波検査を施行した 73 人の患者様です。
- 研究課題名
腹腔鏡下直腸固定術前後の骨盤底機能の経会陰超音波検査所見
- 当院の研究責任者(所属)
消化器外科 加藤 健宏
- 当院の試料・情報の管理責任者(所属)
消化器外科 加藤 健宏
- 本研究の目的・方法・研究実施期間
 - ・目的： 直腸脱等の直腸肛門機能障害患者を対象とし、臨床的骨盤底機能および経会陰超音波検査の関連及び周術期変化の検討です。
 - ・方法： 研究の手順は、後方視的研究。観察項目、調査項目、検査項目は、周術時の臨床病理的諸因子（性、年齢、血液生化学的検査所見、Body mass index、アメリカ麻酔学会術前身体分類、Charlson 併存疾患指数、術式、出血量、手術時間、Clavien-Dindo 分類による術後合併症）、術後在院日数、術前-術後 3 か月-術後 6 か月における再発、他の骨盤底機能障害の有無、質問票を用いた排便排尿機能評価/経会陰超音波検査結果
 - データの収集方法 電子カルテの記載より
 - データの解析方法 既存の統計ソフトを使用
 - ・研究実施期間： 2025 年 7 月 24 日～2029 年 3 月 31 日まで
- 研究に用いる試料・情報の項目
周術時の臨床病理的諸因子(性、年齢、血液生化学的検査所見、Body mass index)、アメリカ麻酔学会術前身体分類、Charlson 併存疾患指数、術式、出血量、手術時間、Clavien-Dindo 分類による術後合併症、術後在院日数

- 他の研究機関への提供・提供方法
他の研究機関への試料・情報の提供はありません。
- 個人情報の取扱い
研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
- お問い合わせ先
担当者(所属)： 亀田総合病院 消化器外科 加藤 健宏
電話： 04-7092-2211(代表)